

ある。今や都市に於て、農村に於て、階級対立は益々激化し一方に於ては階級的対立の激化に恐れ自己の闘争の無力が大衆の失望を受けるやより以上の闘争に進退するの階級意識に熱意もなき徒勞は國內フアンショの計畫に没頭し、社會の不安は濃厚となりつつある此の時に當り日支動亂に基き對支出兵は民衆の憤激をXXに結びつけ階級対立の激化を巧みに轉換せしめんとしつゝある。

二、第六十議會は何を爲さんとするか

かゝる状態の下に閉かるべき第六十議會は更に新たに無産階級に犠牲を強要し、以つて支配階級の經濟的榨取及び政治的支配を續けんがための諸政策並に日支動亂により戰費負擔並に今後に於ける尙一層の帝國主義戰爭に對する準備のための軍備擴張を公然と對議し實行せんとするであらう。

すでに發表されたる第六十議會に對する一般豫算の一部を見ても、いづこに失業勞働者の生活を保障すべき支出がある。殆ど官俸ばかりの失業公債の募集によつて聲を大にして大衆をこま化さんとしつゝある。窮乏のドン底にある農村に對し小作農民の生活を如何にするか、不公平極める低賃の融通は貧民の救済にはなんの役に立たざるのみか其の方法を誤り返つて民衆の憤激を買ひつゝある。斯くの如き低賃の融通が議會の承認を得るも農村産業階級の生活負擔の軽減にはならな

59

三、各黨の對議會案

イ、ブルジョア諸政黨

第六十議會に臨む政府並に民政黨は在野黨たる政友會と本質的に何等異るところ無き以上異りたる對議會政策の存在せざるべきは明かである。

特に對支出費の豫算等に對して協力して此が通過を計り飽く迄資本家地主本位の本質を暴露すべきは火を暗るよりも明かである。

最近民衆階級に於ける連内相を中心とする集團一致内閣論は内閣の危機に遭ひ一時其矛盾を収めたるも安達内相自身今日の如き對外的對外的危機を救ふためには協力一致を飽く迄も必要なりと聲明せる事實等は民政黨、政友會いづれも本質に於て異なりなき對立政黨たるもの所以の現はれである。

他の反動的諸政策、並に帝國主義的一切の費用の承認をなし、無産階級のための抑壓的諸法令の廢止等に反對し返つて反動的勞動組合反動的小作法等を提出し無産階級運動の強壓に協力すべきは想像に難くない。

ロ、社會民衆黨

最近程度に右翼化を恣意的に計畫しつゝある社會民衆黨は最近の傾向よりすれば對議會案は從來より一層反動化すべき傾向にある。一方に於ては資本主義そのもの、打倒を呼びつゝ一方に於ては國內フアンショ運動に迎合進退し過ぎる縣縣會議員の選挙に失敗するや、ブルジョア第三黨たる本質と闘争の無力のため民衆の失望を買ひたる事實を度外視し、一擧に方向轉換を計りつゝある。

斯る傾向をたどりつゝある社會民衆黨は來るべき第六十議會に於て對支出兵を承認し一切の帝國主義的政策に合流するの危険に類しつゝある。

四、我黨の態度

我黨は一切の無産階級の日常闘争と緊密なる連關の下に議會闘争を敢行し議會外の大衆の激況にして強力なる闘争を起さなければならぬ。而して飽く迄支配階級と闘ひ資本主義打倒に向つて突進するものなるが故に議會闘争も亦この見地より展開するものである。

即ち我黨が議會闘争に参加するのは議會を通じて我黨の政策が直に實現し得るものなりとの見地よりもむしろ、我黨は議會を利用し資本主義政治を暴露し、議會を通じて大衆に呼びかけ、以つて無産階級の政治的關心を高め反資本主義的政策の闘争を強力に展開せんとするものである。